



幅1m、長さ24メートルの壁画は3月14日に完成しました。

## 笑顔が広がるまちへ

3年  
生徒会長  
野中です



はじめまして、城山高校生徒会長の野中一平です。今月から1年間、城山高校の活動を紹介していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

上の写真は、今年2月から吉川海岸の堤防に生徒会執行部を中心に描いてきた絵です。休みの日などを利用してやっと完成することができました。この絵を見た人に『笑顔』になってほしいという、思いが込められています。今後も続けていく予定です。

皆さんにはぜひ、この絵を見に来ていただき、不法投棄の問題について考えるきっかけにしてほしいです。この絵のコンセプトは、写真右から陸・海・空と続いています。環境問題を考える時、自然を切り離して考えることはできません。絵の中では生きていく動物たちを描き、私たち人間が共存して生きていくというふうに見てほしいです。

これからは、この活動を通して不法投棄がないまちをつつていきたいです。

### 壁画に思いを込めて

4月 藤田 舟

生徒会の足達君と山ちゃんが海岸清掃についてなにか話していますよ。聞き耳を立ててみましょう。

(足) どんなゴミが多かった？  
(山) やっぱ、ビンとか缶が多かったよね。なんでこんなに不法投棄が多いがやろうかね？  
(足) うーん。わからんなあ…おまえはどう思う？  
(山) やっぱ、捨てる人がおるき、こんな状況になるがやない？  
(足) あーね。じゃあ誰がこんなきれいな海岸に「ミ」あ捨てやうがやろうかね？  
(山) やっぱ「ミ」箱に捨てるのが面倒くさい人らあやない？  
(足) まあ、「ミ」箱が遠かったら話やけど、他になんかない？  
(山) そつやねえ…他かあ…。家に持って帰るのが面倒臭いかない？  
(足) なるほど。それも一理あるかも。でも俺は、環境のことに対して向き合っていないからだと思っがやね。  
(山) おおー。さすがです。ねえ！考える方向性が違いますよ。で、結局、環境に対して関わってほしいんでしょつかねえ？  
(足) そつながやき。そこが問題ながやき。山ちゃんはなんか環境にやさしい、いわゆる「エ」なことしゅう？



### 生徒会室の「エ」コマ

5月 山本 大



(山) えっ!! 自分!! レジ袋をもらわなかったり「ミ」の分別をしなかったり「も」ろん不法投棄もしない「く」らいなことしやせんぞ!!  
(足) おもつきしやつとるやないか!! すこいなあ!! まあ「エ」活動するのは、環境に対して向き合っている「つ」ていう証拠だよ。この学校入って初めて山ちゃんを見直したわ。  
(山) ありがトウース。  
(足) やっぱ、これからの時代は「エ」な活動をしていかないと時代に取り残されるからね。環境にやさしいことをすれば、きっと地球も僕たちを見直してくれるよ。

### 笑顔(°)あかし農場



校長の  
今井です

校庭での野菜作りに笑顔が集まる

本校敷地内に小さな農園があります。平成15年以降OBや地域の方の協力を得ながら作物を作り始めましたが、平成21年度に本校と赤岡中学校生徒会と合同で作物を作ろうと、再度土地の整備をし、「あかし農場」が始まりました。

昨年度はスイカとさつまいもを植え、お芋は赤岡保育所の園児さんと一緒に掘り、家に持ち帰っておいしく食べました。

今年もおいしい作物が育ちますように。



②

① 原画作り/生徒会を中心に話し合い  
② 壁画制作/生徒会を中心にボランティアが加わり土日を中心に活動  
③ 吉川海岸清掃活動/もちろん、この日はお手伝い!

### 今月のTeacher

弘田 美佳先生  
福祉教養系  
城山高校2年目

好きな言葉…あきらめない



# 守りたい 海岸はゴミ捨て場じゃない



悪質な不法投棄はもうさせない。  
捨てさせない取り組みが地域に広まり  
吉川海岸が元の姿を取り戻そうとしている。



堤防とテトラポッドの間にあるゴミは、今回の清掃では、全てを取り除くことはできなかった。

### 吉川海岸「ゴミ」の実態

合併以前から、吉川海岸の不法投棄は、拾っても拾っても捨てられる状態が続いている。毎年冬に市や県中央東福祉保健所、地域住民で清掃を行っているが、不法投棄が後を絶たない。「ミ」は、人通りが少なく、海岸堤防沿いを走るサイクリングロードの堤防とテトラポッドのすき間に多く捨てられている。家庭「ミ」や空き缶、テレビや冷蔵庫、扇風機などの家電製品も目立つありさまだ。

### 捨てさせない環境づくりへ

市環境対策課は、県中央東福祉事務所と協力して、今年2月に清掃活動を計画。この清掃に併せて、吉川海岸へ赤岡中学校に不法投棄防止の看板のイラストと標語を依頼し設置した。また、夜間でも撮影できる移動式監視カメラも設置した。

### 広がる思いが現実に!

さらに、城山高校に清掃の協力をお願いした際、生徒会の担当である弘田美佳教諭が「堤防に絵を描いて、人が絵を見に来してくれるようになれば不法投棄がなくなるのではないかと提案し、壁画の制作も始まった。

この活動は次第に広まり、城山高校の呼びかけで、国際デザイン・ビューティカレッジも参加。この話を市や県から聞いた県建設業協会南国支部も賛同し、生徒らが描きやすいように堤防のコンクリート壁を高圧洗浄した。また、吉川町のみどり保育園児も絵を描いた。

壁画は、1.5kmの堤防に数年かけて制作する予定で、今年、250mを制作し、毎年継続した取り組みを目指している。

### 清掃に230人のボランティアが参加

2月26日(日)地元住民の他、自衛隊や地元企業、地域の学校に働きかけボランティアを募って行った吉川海岸清掃。この日は、風が強くてつく寒さの中、230人が寒さに耐えながら作業を黙々とこなした。参加者からは「テトラポッドの奥に「ミ」を隠すように捨てている。悪意としかいようがない」とモラルのなさに憤りを吐露する場面も。約2時間で集められた「ミ」は2トトラックに12台(約8ト)分もあり、処理費用は80万円だった。

綺麗になりつつある海岸には、願いが込められた壁画や看板が、みんなの笑顔を待っている。